

19万人のひろば



親子で新しい感覚のアートを体験
野菜deお絵かきアート教室を開催



▲自然の色を使って描きました

どんな色かな、香りはどうかな。切ったり混ぜたりして、野菜がアートに。7月25日、農業交流センターで野菜deお絵かきアート教室が開催され、親子4組が参加。マスターアートワークセラピストの石山七重さんが市産の野菜の紹介や色の付け方などを説明。紙に絞った汁で色を付けたり、布の染物やオリジナルのジュースを作ったりしました。初めての体験に楽しかったと満足気な子どもたち。親子で新しい感覚のアートを楽しみました。

「翔べ誰よりも高く東海の空へ」
高校総体代表選手の激励会

7月12日、30年度全国高等学校総合体育大会出場への激励会が行われ、選手44人が市長を表敬訪問しました。今年の夏季大会は「翔べ誰よりも高く東海の空へ」をスローガンに、7月26日～8月20日に東海地方4県に和歌山県を加えた5つの県で開催され、30競技が行われます。本市からは、県立八千代高等学校（柔道）、県立八千代西高等学校（ウエイトリフティング）、千葉英和高等学校（アーチェ



▲自己ベストを目指して頑張れ

リー）、八千代松陰高等学校（バスケットボールと陸上）、秀明八千代高等学校（空手道、テニス）の5校総勢45人が出場します。

昨年度出場できなかった悔しさを糧に、見事インターハイ出場を果たしたアーチェリー部女子団体の代表の八木さくらさんは「上位入賞を目指し、3年間の集大成として結果を残したいです」と意気込みを語りました。

日本の技術を生かしたい
タイの民間訪問団が訪れました

本市とタイ王国バンコク都は、友好都市です。7月12日、日本の技術を学ぶため、タイの民間訪問団19人が、清掃センターと中央消防署を視察に訪れました。清掃センターでは、粗大ごみ処理施設や焼却炉、最終処分場などを見学し、中央消防署では、救命実演、指令センターの見学、防火衣装着や放水、はしご車搭乗体験などを行いました。スニット団長は「とても貴重な体験ができました。今回学んだことをタイでも生かしたいです」と話していました。



▲3人の救命救急士の正確かつスムーズな対応に目が離せません

涼しい里山で自然体験 ファンタジーフェスタ2018を開催

親子で自然を体験する「ファンタジーフェスタ2018」を7月15日、里山を守って15年の街づくり市民の会が米本の里山広場などで開催しました。会場では、朝採りのトウモロコシ150本の販売、和太鼓やバンド演奏などで盛り上がりました。楽しみに待



▲ソーメンをうまくつめたかな

っていたカブトムシ採りでは、昨年竹を粉砕して作ったチップの山から約40匹のカブトムシを捕まえて、子どもたちは目を輝かせていました。竹を使った長さ30mの流しソーメンでは、流れてくるソーメンをつかむのに真剣な子どもたちの姿も。今回はカレー味のタレを追加し、大好評でした。自然と触れ合うさまざまな貴重な体験ができました。

これって八千代？ ②

テレビドラマ、コード・ブルーのロケ現場となったTRC八千代中央図書館・オーエンス八千代市民ギャラリー。当日は、主演の山下智久さんや新垣結衣さんのほか、エキストラなど120人が集まりました。正面には、蒔田中央駅の看板が取り付けられ、騒然となる事故現場のシーンでは、ヘリコプターや救急車も車両も並び、普段と違った雰囲気。周囲は、張りつめた空気に包まれました。



▲ドラマでは蒔田中央駅に

八千代歌壇

佐波 洋子選

父母姉兄ひとりひとりに語りおえ墓前にひっそり夕暮がくる
(八千代台東) 藤井 京子

コゲラ来て交わす地鳴きは怒ること泰山木は硬さ足りぬと
(萱田町) 吉田 仁子

姉の部屋ものがだんだん重なりて今では森の鳥の巣となる
(八千代台東) 伊藤 浩子

梅雨あけて穴子が句と釣友の誘いのありて夜釣へ出向く
(大和田新田) 諏訪 俊一

真白いサザンクロスを風ゆらす山法師咲く五月の庭は
(勝田台北) 田巻 幸生

満載のカート押し来し若き主婦と並びて胡瓜一本を選ぶ
(吉橋) 宮谷あや子

沈みゆく虚構の中を彷徨いて流星群の輝きを追う
(八千代台東) 森野 豊作

膝痛の友丹精の空豆の莢剥きあればその面頭ち来
(八千代台東) 高橋マサ子

選評 一首目、丁寧な上の句に死者への細やかな愛が籠る。下の句の「ひっそり」が、時間の経つのを忘れて死者に語りかけていたことを思わせ巧み。二首目、コゲラはキツツキ料の鳥。泰山木をつつく時に柔らかな過ぎて怒っているようだという見方は面白いが、地鳴きは平常の鳴き方の事で「怒る」とは合わない様だ。「交わす鳴き声怒るらし」等として終止形に。三首目、比喩が温かい。姉の内面に届かせるなら「だんだんに物が重なる姉の部屋鳥の巣となる安心のごと」等、一考を。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

気が付けば若いシニアが目白押し 大和田新田 渡邊けい子

分相応生きて親父の年を越え 八千代台北 萩原 桜児

晩成を信じて古希の鉄アレイ 大和田 和田まさ子

山の花待ってるからと一歩ずつ 高津 岡田やほこ

金毘羅の石段見上げ脈上がる 村上団地 山田 純子

高齡化土台ぐらつくピラミッド 萱田町 金盛 文子

反省しない老いの居場所が狭くなる 村上 藤原 敏弘

マンションを不夜城にしたW杯 勝田台 三宅 洋子

